

矢上団地自治会連絡協議会（長崎県）

私は矢上団地自治会連絡協議会、NPO たちばなの監事をしております佐藤でございます。同じく会計を担当しております松林です。よろしくお願いします。



活動地域の紹介

まず矢上団地の位置です。長崎市の東側にあり、小倉から長崎に向かう長崎街道というのがありますが、長崎に入る一つ手前の最後の宿場町が矢上です。昔、長崎は天領でしたが、矢上は佐賀藩の所領だったところです。

団地内には橘小学校と橘中学校が1校ずつあります。橘小学校は 24 クラス 874 人で、橘中学校は 15 クラス 560 人の規模です。この団地は昭和 60 年から分譲が始まり、それ以来、よそから寄り集まった人たち、見も知らぬ人たちが一緒に住んで、やっと 25 年、四半世紀たったところです。この 25 年間に、私たちはどういう地域社会をつくるかということに非常に苦労してきました。昭和 57 年に長崎大水害がありました。このとき、たくさんの崖が崩れて住宅が崩壊し、多くの人が亡くなっています。ただ、同じような崖が崩れたところでも、全員がお亡くなりになったところもあれば、ほとんどの方が助かったところもある。この地域差は何かということをつぶさに検証したとき、地域住民間の意思疎通、情報伝達がうまくいっているところは速やかに一緒に逃げ出しているという事実があった。このことを念頭に、私たちは自治会活動を始めるに当たって、みんなで情報共有して何でも一緒にやろうということで 25 年やってきました。本日お話しする安全・安心活動も、その地域コミュニティ活動の一つのツールとして取り組んできているということです。


団地・連絡協議会の概要

団地の概要ですが、矢上団地地区の人口は 7,237 人、2,581 世帯です。長崎市全域から見れば、人口で 1.6%、世帯数で 1.3% です。自治会の加入状況は、数字的には 89% になりますが、自治会は、親子 2 世帯の場合、どちらかが入ればよいという取り決めもあるので、実のところ、自治会加入率は 95% 以上ではないかと思えます。長崎市全域で見ればいま 7 割、地域住民の自治会離れが問題になっている中、この自治会加入率を維持していくのが、まずは私たちのベースとなる大事なところです。

次に連絡協議会の概要です。昭和 60 年から団地が始まっていると申し上げましたが、最初の自治会から戸数が増えるごとに自治会が増えてまいりました。そういうことで協働活動をするために連絡協議会を平成 5 年 4 月から発足して、現在では 14 自治会、2,295 世帯で構成され、議決機関としては総代会、役員会という会議を行いながらやっております。執行組織としては、総務部、保健環境部、体育部、文化部、婦人部、生活安全部で、この生活安全部が基本的に安全・安心活動を担うということで、そのパートナーとして NPO たちばなを別途持っているということです。

連絡協議会の概要

創設年月日	平成5年4月1日
構成自治会数	14自治会
構成自治会員数	2,295世帯
議決機関	総代会(年2回開催) 役員会(奇数月開催)
執行組織	事務局、総務部、保健環境部、体育部、 文化部、婦人部、生活安全部(ユートピア安全対策)の1局6部
関係団体	NPOたちばな

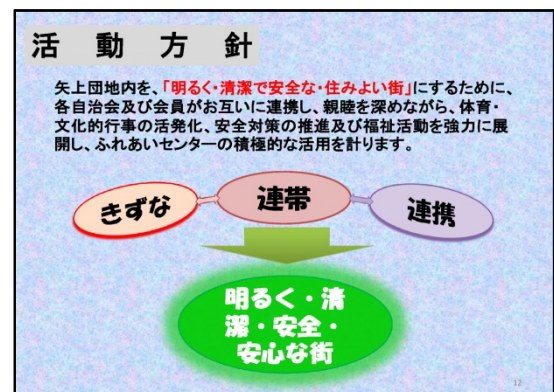


左側の写真が、私たちが持っている事務所になります。これは矢上団地が発足したときに汚水処理施設としてつくられていた工場です。それが、公共下水道につながったため不要になった際に地域住民の財産としてもらって、私たちが維持管理をしております。右側が連絡協議会の広報誌で、いま36号を発行しているところです。

平成5年4月から発足して、平成6年には「未来指向型地域安全モデルタウン指定ユートピア矢上団地安全対策事業」というのが県警本部からの肝いりで開始。その当時、私たちがもまだ若かったものですから共稼ぎの家が多く、昼間留守の家がたくさんありました。そういうことも踏まえて、安全対策事業を一緒にやりましょうということでやりました。3年ぐらいやって、それが解除になり、それを私たちが自分たちでやるという事業としていままでも継続してきています。それを経費面的にどうしていくかということ考えた中で、特定非営利活動法人たちばなを発足させて、青色防犯パトロール等々の費用を何とか捻出しようということでやっているところです。幸い、昨年10月には内閣総理大臣からおほめの言葉をいただきました。

ここに掲げているのは活動方針です。矢上団地内を「明るく・清潔で安全な・住みよい街」にするために、連携し、親睦を深めながら、体育・文化的行事の活発化、安全対策の推進および福祉活動を強力に推進し、ふれあいセンターも大事にしていきましょう、積極的に使いましょうということで、活動方針に挙げさせていただいております。

この「きずな」というのは各会員相互の絆をきっちりつくっていきましょうという話ですし、「連帯」は14自治会それぞれが連帯していきましょうと。そして、その上で各関係機関との「連携」をやっていく。これをトータルで面倒を見ますというのが、私たち矢上団地自治会連絡協議会です。そういうことは結果的に、明るく・清潔・安全・安心な街をつくっていきたいということを高らかにうたって活動を進めてまいっております。



安全・安心活動



まず青色回転灯自主防犯パトロールで、NPO たちばなが主体的にやっておりますが、自治会員が運転をしています。平成23年度は実施日数354日、参加人員647人です。このほかにもイベント的に参加していますが、運転者の実施者証を持っているのが174人、車両を3台持っています。これは日本財団さんからいただいた車両ですが、このほかに同型のワゴン車1台、軽トラック1台を団体で所有しております。

安全・安心活動の2番目として、夏季および年末年始の夜間パトロールということで、夏祭り終了後の夜間パトロールが133人、年末の夜間パトロールが参加182人で実施しています。最近、世の中が変わってきて、メタバ対策ということで、ご家庭のご婦人が昼間であれ、夜であれ、連れ立って町中をよく歩いています。私たちはそのような方々に対して、声掛けをし合って、挨拶をしながら回っていただければ、それがそれなりの防犯活動になるということで、どんどんやってくださいというお話をしていますが、夜は目立つ服装にしてくださいということだけはお願いしています。夜間とか、昼間とか、私ども団体がやっている以上に地域の皆さんがそのような意識を持って、勝手に歩き回っているという状況もあるということをご理解いただきたいと思います。

安全・安心活動の3番目は、環境美化活動です。町をきれいにするというのも防犯活動の観点から見れば大事なことです。私たちは、団地内一斉清掃を年4回、全員参加でやっています。3月、6月、8月、12月で、延べ参加は4,754人です。体調が悪いとか、法事などで参加率100%にはなかなかありませんが、ただ、ほとんどの人が参加する機会は絆づくりにとって大事であり、お互いに顔見知りになることが自治会活動の前提で、防犯、安全・安心活動の前提だと思っています。



安全・安心活動の4番目として、小学生児童を対象に自転車の安全運転教室をやらせていただいています。

このほかに、安全・安心活動の5番目ということで、団地内住民を対象に年1回、11月に消火・避難及び救急救命訓練を実施しております。昨年は73人の参加でした。各自治会持ち回りで開催するというので、昨年は高層アパートを含む自治会が対象だったので、はしご車に実際に来ていただき、どう避難するのかという体験をしました。



次に安全・安心活動の6番目ですが、この古紙・空き缶回収活動が安全・安心活動になるかどうかというのは、疑問に思われるかもしれませんが、自主防犯活動に必要な車両のリース代や燃料費等を、全部は賄えませんが、NPO法人たちが古紙・空き缶回収事業を実施して、昨年は事業収入として59万円の収入がありました。後ほどNPOの収支、それがどのぐらいに当たるのかというところをご説明しますが、月に2回、私たちが持っている事務所1階に集積所を設けておりますので、それが満杯になった段階で搬出して、お金に換えています。最近では、住民の皆さんが率先して持って来てくださいます。



その他の活動ということで、まちづくり講演会をやったり、ウォーキング大会をやったり、運動会をやります。

その他の活動ということで、まちづくり講演会をやったり、ウォーキング大会をやったり、運動会をやります。

す。運動会は 10 月ですが、昨年は 1,200 人参加がありました。夏祭りは8月にやっています。参加は 2,300 人で、夜のステージイベントになります。そのほか、とにかく冬の夜を明るくしたいということで、クリスマスイルミネーションを 11 月から1月まで点灯させています。12 月にはコンサートも行います。それ以外に年間で 30 行事をこなしております。共に地域社会をつくっていくというつもりで、この 25 年間やってまいりました。



担当部局	事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事務局	総代会	○											○
	定例役員会		○										○
	広報誌発行			○			○						○
総務部	まちづくり講演会		○										
	ウォーキング大会								○				
保健環境部	一斉清掃			○		○				○			○
	樹木剪定				○								
体育部	運動会							○					
	夏祭り					○							
文化部	イルミネーション点灯式									○			
	クリスマスパーティ										○		
婦人部	婦人講座		○				○	○					
生活安全部	自転車教室		○										
	夜間パトロール					○				○			
NPO たちばな	消火・救命救急訓練									○			
	青色パトロール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

活動の成果

矢上団地内の刑法犯犯罪件数は、21 年度が 15 件、22 年度が 17 件。23 年度は間に合いませんでしたので書いていませんが、いまわかった段階で 15 件ということになっております。実は、平成 18 年から青パトの活動をやっているのですが、その前3年間は、年間だいたい 45～46 件の犯罪件数がありました。それは平成 15～17 年の話ですが、それ以前は犯罪件数が少なかった。平成 15～17 年で犯罪が急に増加しました。昼間の空き巣・侵入盗が結構増え

まして、「何とかせんばいかん。」という中で、「私たちがパトロールするしかないね。」ということで青色防犯パトロールを始めた訳です。また、そのころに、小学生児童が不審者に襲われるとか、高校生の女子生徒が帰宅時に玄関の近くで襲われるとか、そういう殺伐とした時期がありました。それも私たちが何とか抑止をしなければいけないということで、青色防犯パトロールを平成 18 年から始めて、いまピークからすれば3分の1に落ち着いているところです。本来であれば、これがゼロになるのが望ましいだろうと思いますが、なかなか理想どおりにはいかないというのも現実だと思います。

矢上団地内刑法犯罪発生件数

	非侵入窃盗	乗物盗	侵入盗	器物損壊	住居侵入	県条例違反	強制わいせつ	小計
平成21年度	3	5	0	6	1	0	0	15
平成22年度	4	3	2	3	1	2	2	17

連絡協議会と NPO たちばなの収支

収入が年間 222 万ほどで支出は 224 万ほどです。負担金を1世帯当たり年間 850 円いただいています。

次に NPO たちばなの収支です。収入は会費が 14 万です。14 自治会で立ち上げましたから、自治会

当たり1万円出してくださいという話になっています。防犯パトロール事業費というのは、補助金が来ます。防犯協会や小中学校PTAから補助金をいただいて、それが47万7,950円になります。年間134万ほどの予算、規模で運営させていただいております。

連絡協議会の収支 1

平成23年度連絡協議会収支

収 入		支 出	
費 目	金 額	費 目	金 額
負 担 金	1,962,650	事 務 運 営 費	743,518
雑 収 入	260,983	専 門 部 費	1,052,233
		助 成 金 等	91,299
		広 報 誌 発 行 費	180,630
		運 営 資 金 積 立 金	180,000
小 計	2,223,633	小 計	2,247,680
前年度繰越金	323,058	次年度繰越金	299,011
合 計	2,546,691	合 計	2,546,691

連絡協議会の収支 2

平成23年度NPOたちばな収支

費 目		支 出	
金 額	金 額	費 目	金 額
会 費	140,000	管 理 費	148,155
防 犯 P 事 業 費	477,950	防 犯 P 事 業 費	611,928
環 境 美 化 事 業 費	590,130	環 境 美 化 事 業 費	491,223
そ の 他 事 業 費	105,528	そ の 他 事 業 費	13,360
雑 収 入	30,953	租 税 公 課	93,600
小 計	1,344,561	小 計	1,358,266
前年度繰越金	1,294,658	次年度繰越金	1,280,953
合 計	2,639,219	合 計	2,639,216

今後の課題

後継者をいかにつくっていくかということで、積極的な世代交代と後継者育成に今後も取り組まなければいけないと思っております。高齢化対策として、高齢者の生活をどうサポートしていくかというのは、私たちのコミュニティとしても今後の課題です。それと、私たちの団地内には戸建て住宅住民と共同住宅住民がおりまして、いままで仲良くやってきてはいますが、参加率を見たときに、やはり共同住宅住民が弱いところを何とか改善したいと思っております。本日はどうもありがとうございました。